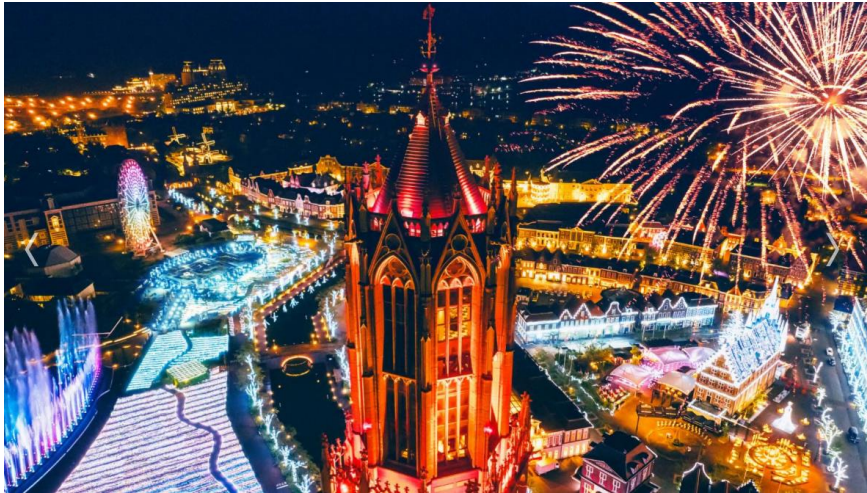




グラバー邸(長崎市)

長崎県の取組



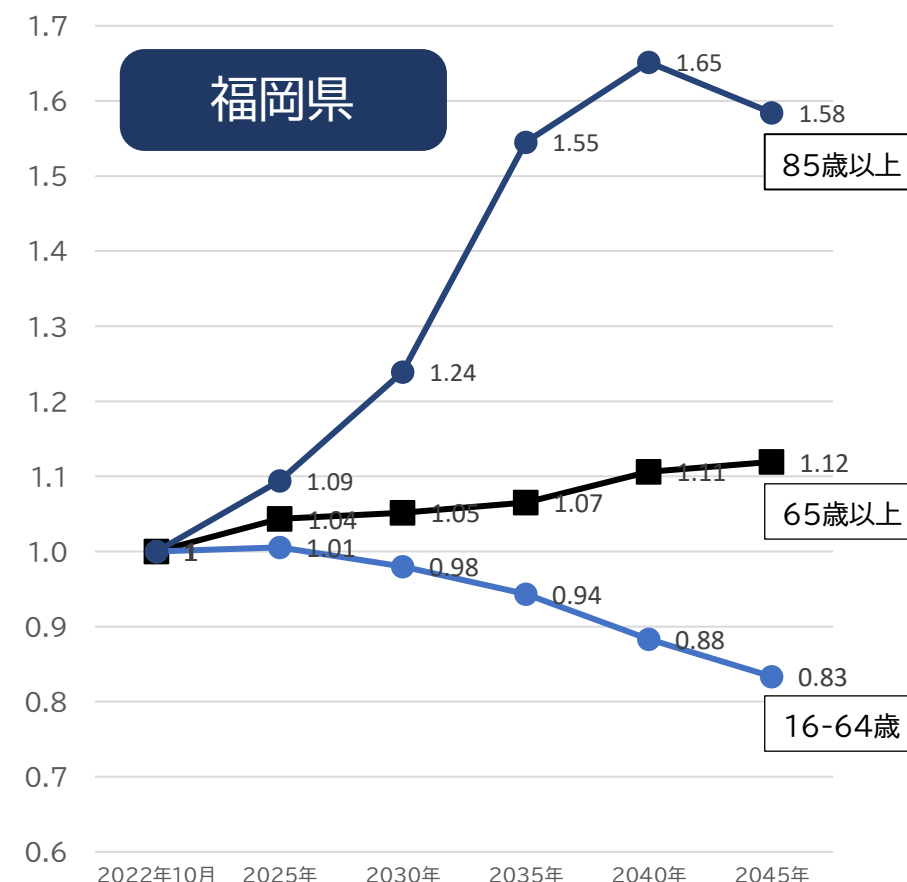
ハウステンボス(佐世保市)

2025年3月18日
長崎県長寿社会課

長崎県の現状

- ▶ 長崎県の人口動態は、全国と比較して15年早く高齢化が進行。福岡県などの大都市ではまだまだ高齢者は増えるが、長崎県では減少

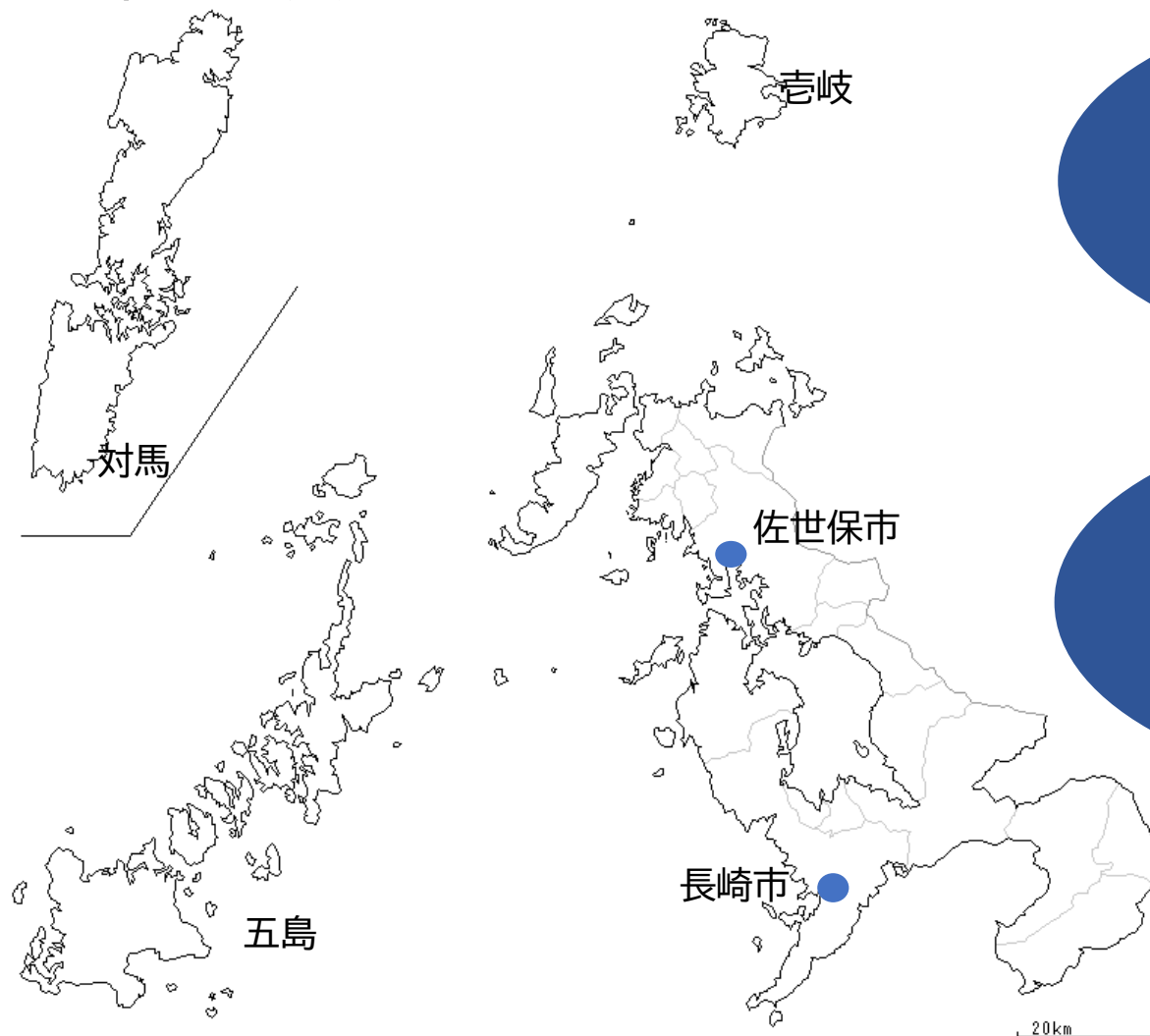
2022年10月人口を1としたときの世代別人口の伸び率



※国立・社会保障人口問題研究所(社人研)「日本の地域別将来推計人口(R2推計)」

地域差を踏まえたうえでの施策の推進

- ▶ 長崎県は離島や半島が多いため、交通不便地域が多く、都市部との地域差を踏まえた施策が必要



離島など

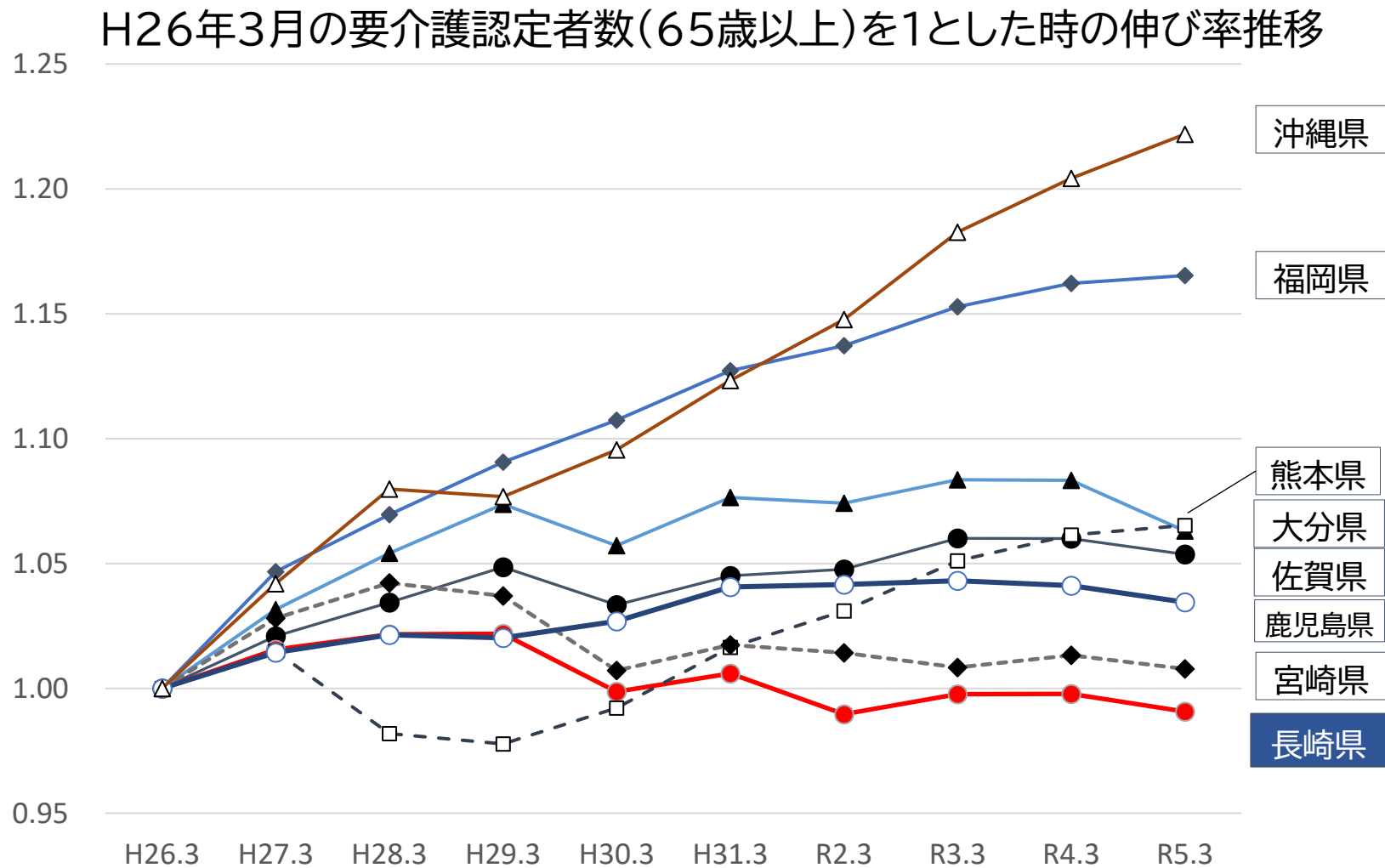
持続可能なサービス資源
を確保することが重要

都市部など

多様なサービスが連携して
効率化を目指すことが重要

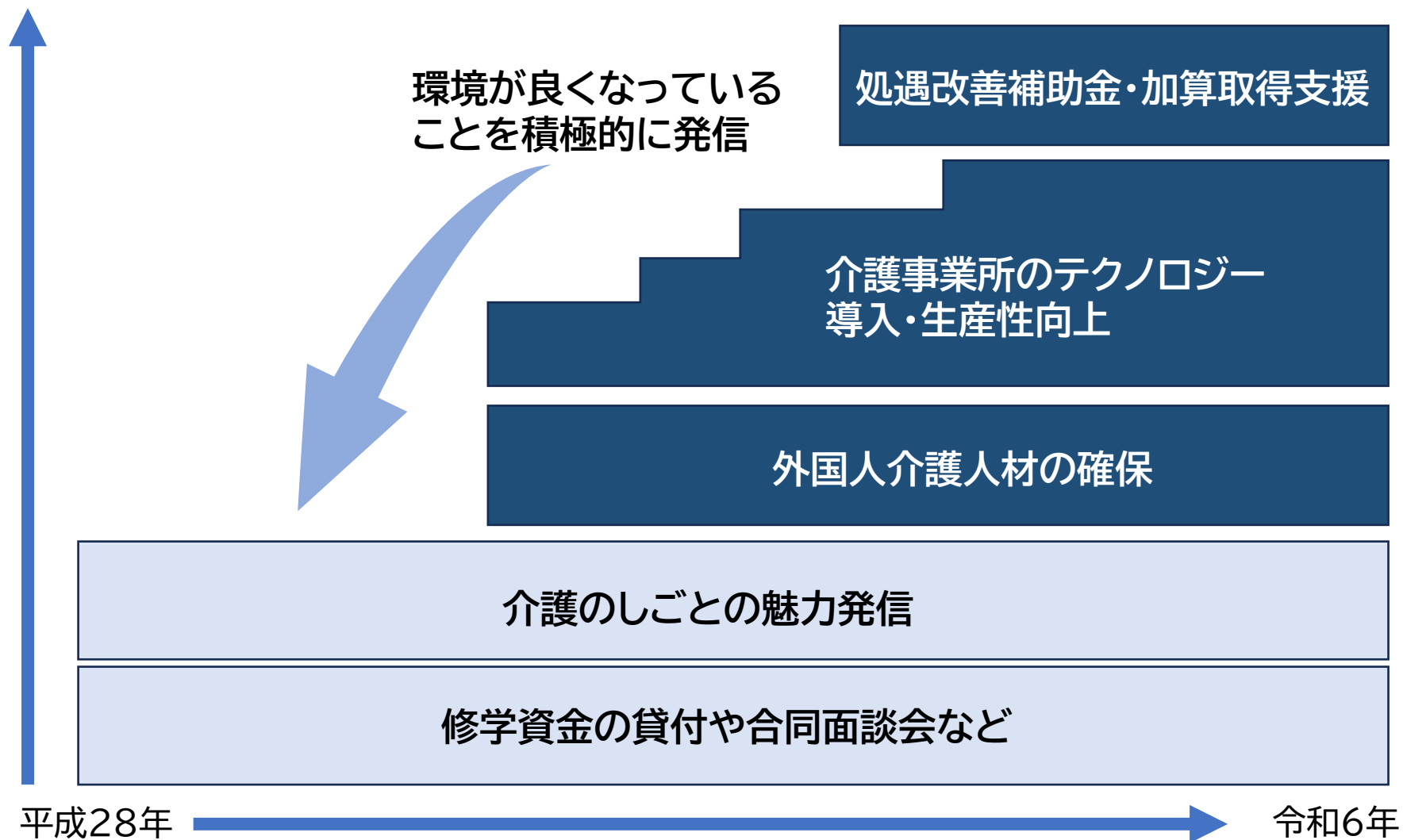
地域包括ケアシステム

- ▶ 長崎県では毎年市町の地域包括ケアシステム構築状況ヒアリングを実施し、近年、本県の要介護者の伸び率は大きく鈍化



近年の介護人材対策の変化

- ▶ 近年は、介護分野への参入支援(魅力発信など)に加えて、介護事業所そのものの環境を改善する取組や外国人材の確保施策を強化



若い人たちへ魅力を伝える

▶ 介護のしごとと魅力伝道師

中学生や高校生等に対して、介護の仕事のやりがいや魅力を伝える活動を行うために県が認定している熱意を持った若手介護職員

【主な活動】

- ①次世代の担い手への働きかけ
- ②イメージアップイベントへの参加
- ③求職者への働きかけ
- ④その他の活動(新人介護職員向けの研修など)

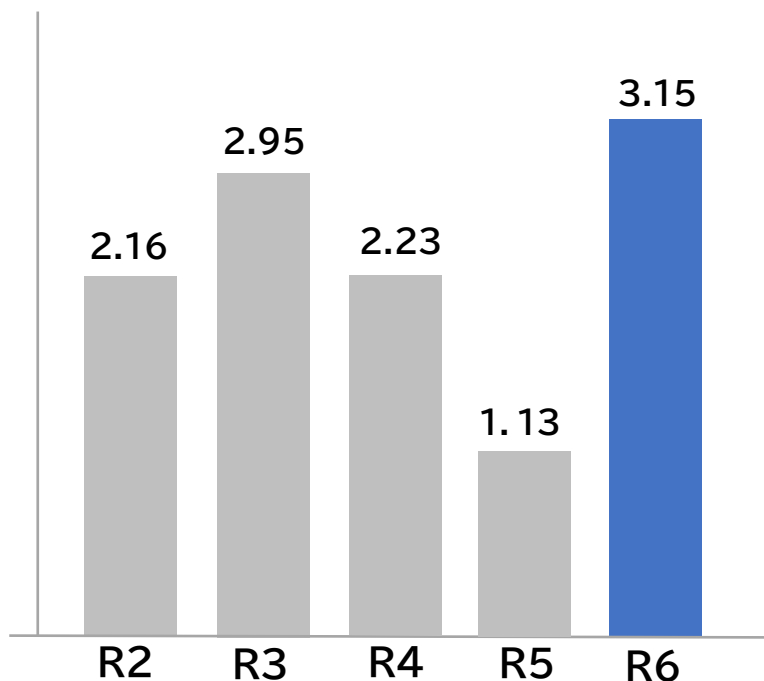


長崎県の介護現場テクノロジー導入関係予算



ながさき介護現場サポートセンター(R6.6開設)

県の介護テクノロジー関係予算(億円)



✓ 介護事業所へのテクノロジー導入支援(2.6億円)

介護ロボットや介護ソフト等のデジタル機器を導入する介護施設へ補助(補助率4/5)

✓ ケアプランデータ連携システム導入(0.02億円)

複数の事業所が協力してケアプランデータ連携システムを活用した実証モデル事業を実施し、横展開

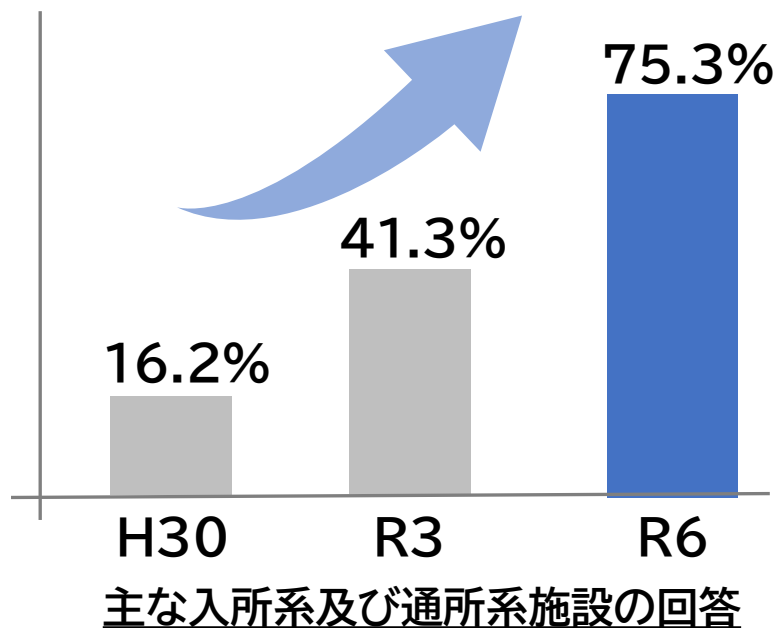
✓ 介護DX化推進(0.2億円)

介護施設における業務全般のテクノロジー化のための機器導入等の経費を補助(上限10,000千円)

✓ 事業者グループ職場環境改善協働実施推進(0.17億円)

小規模事業者を含むグループに対し、人材の共同募集、研修、デジタル機器導入経費等を補助(補助率4/5)

県内の介護施設のテクノロジー導入率



介護施設については、6年前と比較して大幅に上昇



テクノロジーがあつてあたり前の状況になりつつある。

テクノロジーを導入しない理由

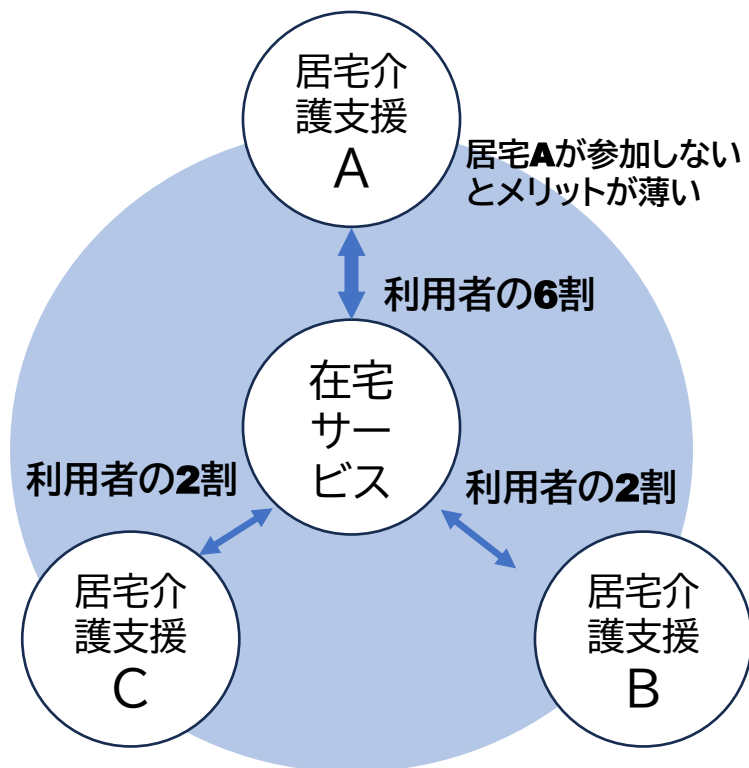
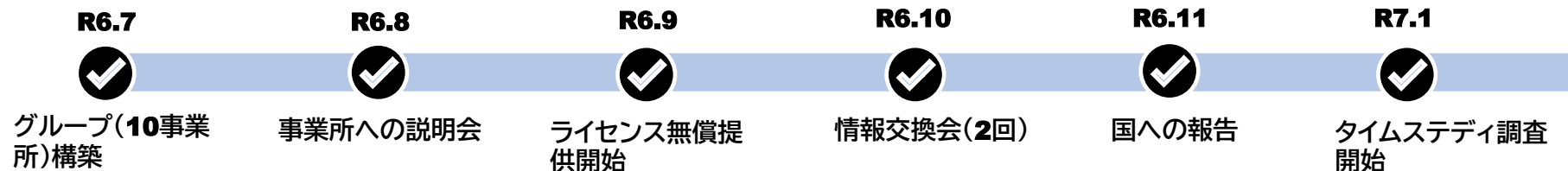
- 1 導入コストが高い
- 2 導入効果に疑問
- 3 保守等が心配

県に求める支援

- 1 導入への補助
- 2 情報提供
- 3 機器の試用

ケアプランデータ連携システム導入支援

- ▶ 県が関係団体に委託して、ケアプランデータ連携を行うモデルグループをつくり、課題や効果を横展開し、県全体へ波及させていく



現場からの声

紙の使用量が従来の**1/5**になった

各事業所との連携調整に要する巡回時間が**1/3**になった

2人で**1**日がかかりだった実績報告の作業が**1**人半日でできるようになった

県と委託先(ケアマネ協会)が協力して全県に先進モデルとして展開

次年度も約**5,000**千円の予算を計上

事業者グループ職場環境改善協働実施推進

- ▶ 経営統合や連携法人を目指さなくても、まずは、採用活動、研修、人材育成などの協働から入っていくことが重要

01

共同求人



Dip社「採用ロボット」、「面接ロボット」を活用して共同求人

02

福祉体験ツアー



移住スカウトサービス「SMOUT」を活用しての移住体験ツアーの実施

03

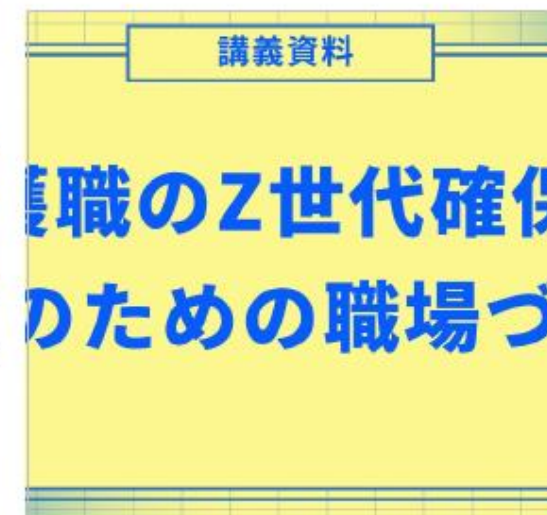
経営診断



ポイント診断
現地調査
戦略レポート

04

課題別セミナー



Z世代のための職場環境等整備
組織構築の王道戦略
生産性向上委員会の進め方
採用定着のための組織づくり